

株式会社中静工業所 エコアクション21

2022年度 環境経営レポート

対象期間:2022年6月1日～2023年5月31日



®環境省

エコアクション21
認証番号 0002514



飯田事業所



下野工場



松野工場



高橋工場



内田事業所



九州佐賀工場

No	項 目	頁
1.	環境経営方針	1
2.	事業概要	2-4
3.	環境経営目標とその実績	5-11
4.	主要な環境経営計画の内容	12
5.	環境活動内容（取組み状況）	13
6.	環境経営活動の取組結果の評価	14
7.	次年度の取組み内容	15
8.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	16
9.	代表者による全体評価及び見直し・指示	17

作成:2023年10月27日

rev: 231027

1. 環境経営方針

〔環境理念〕

株式会社中静工業所は、ハーネス等電装品の生産活動を通して、全員参加で環境保全活動に取り組む

〔基本方針〕

- (1) 環境保全活動は、次の項目を重点活動として継続的改善に取り組めます
 - ① 二酸化炭素排出量の削減
※電力使用量とガソリン・軽油投入量の削減
 - ② 廃棄物排出量の削減
※3R活動による廃棄物の削減
 - ③ 水道使用量の削減
※一般生活用水の節水意識向上
 - ④ 化学物質使用量の把握
※適正量の購入維持
 - ⑤ 環境に配慮した製品作りの推進
※梱包方法等の見直し、不良品率の削減
 - ⑥ 環境負荷削減と費用削減を両立
- (2) 環境関連法規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します
- (3) 環境に配慮した製造活動を中心に、環境経営の継続的改善を実施します
- (4) 社内へは環境経営方針を全従業員に周知徹底を図り、社外へもHPを通じて環境経営レポートを開示します

制定：2008年 5月 10日

改定：2020年 6月 5日

株式会社中静工業所
代表取締役社長 岩田 潔周

2. 事業概要

(1) 組織の概要

2023年05月31日現在

会社名	株式会社 中静工業所					
代表者	代表取締役社長 岩田 潔周					
資本金	6000万円					
売上高	48.0億(2022年6月～2023年5月)					
事業年度	期首 6月1日～期末 5月31日					
年間稼働日数	254日					
就業形態	1シフト					
就業時間	8:00～17:00					
従業員数(全社)	256人					
創業	1960年4月					
環境管理責任者	技術・PJ部 永野 裕樹					
事業所名	高橋工場 (本社・管理部)	飯田事業所	下野工場	松野工場	内田事業所	九州佐賀工場
事業所所在地	〒424-0043 静岡県清水区 永楽町11-89	〒424-0041 静岡県清水区 高橋3-7-43	〒424-0041 静岡県清水区 高橋3-7-50	〒421-3303 静岡県富士市 南松野296-1	〒424-0008 静岡県清水区 押切1108-8	〒849-0903 佐賀県佐賀市 久保泉町大字下 和泉1859-10
設立	1979年3月	1995年3月	1986年12月	2007年5月	1991年7月	2017年8月
従業員数(工場)	36	59	68	50	6	37
敷地面積	1087㎡	796㎡	998㎡	2273㎡	855㎡	3425㎡
建物面積	1395㎡	1378㎡	1390㎡	1352㎡	614㎡	1988㎡
工場長	山本 昌弘	魚取 勝英	溝口 浩幸	望月 重男	(兼)魚取 勝英	古賀 健一郎
副環境管理責任者	山本 昌弘	山田 茂芳	望月 宏樹	竹下 慎一	長澤 亮	石橋 正二郎

(2) 製品の概要

ハーネス等の電装品

家電用(冷蔵庫・エアコン等)及び自動車のランプ関係を中心とした、ハーネス品・樹脂成形品

自動車用ハーネス



リアコンビランプ用ハーネス



ヘッドライト用ハーネス

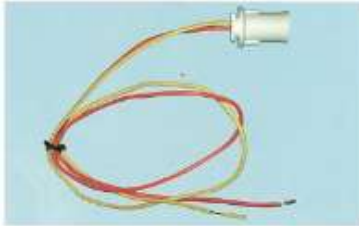


ホットメルトモールドスイッチハーネス

家電用ハーネス



冷蔵庫用ハーネス

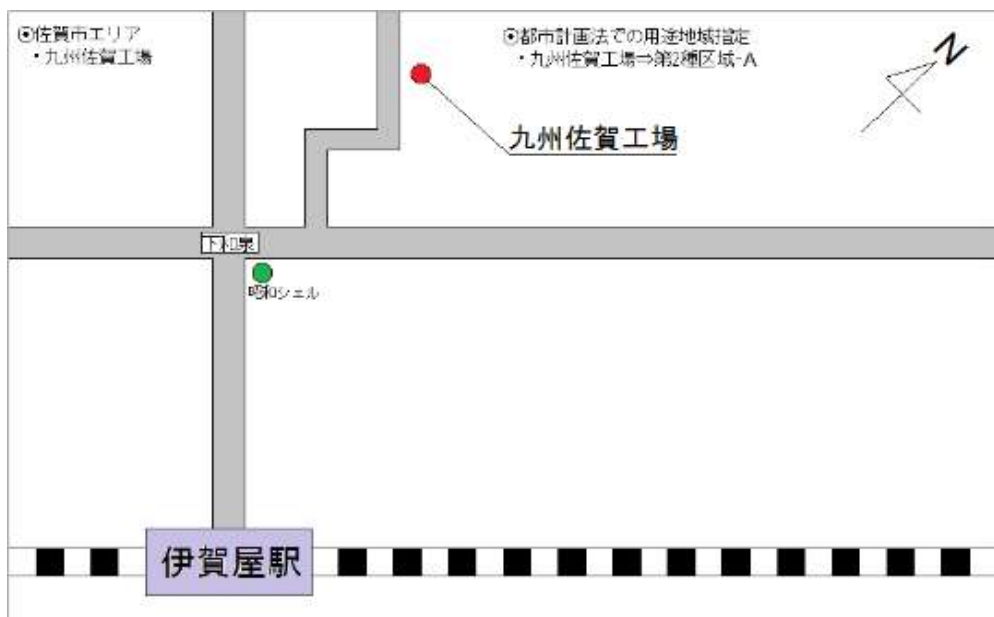
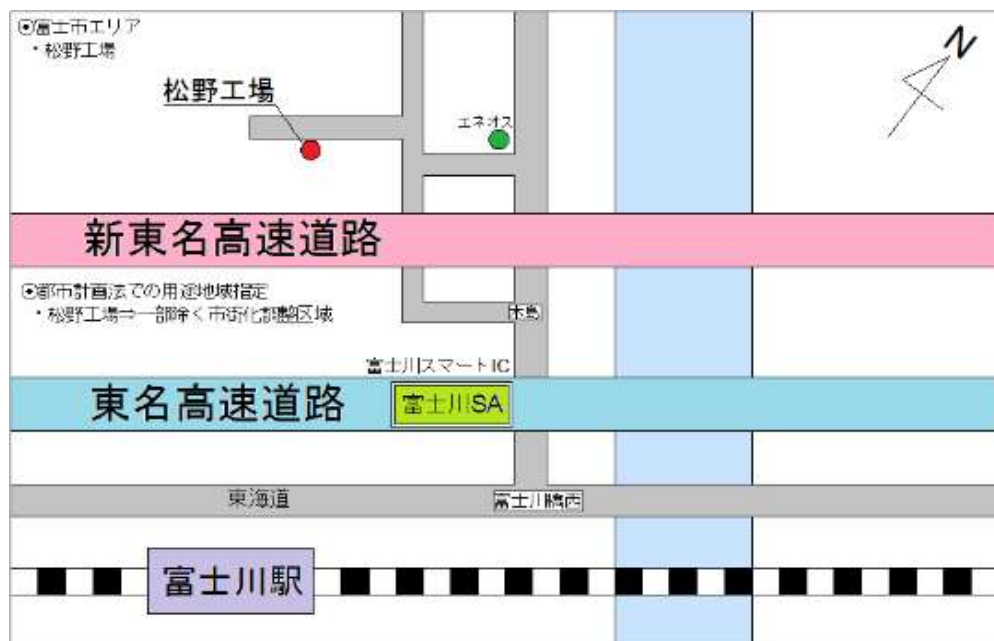


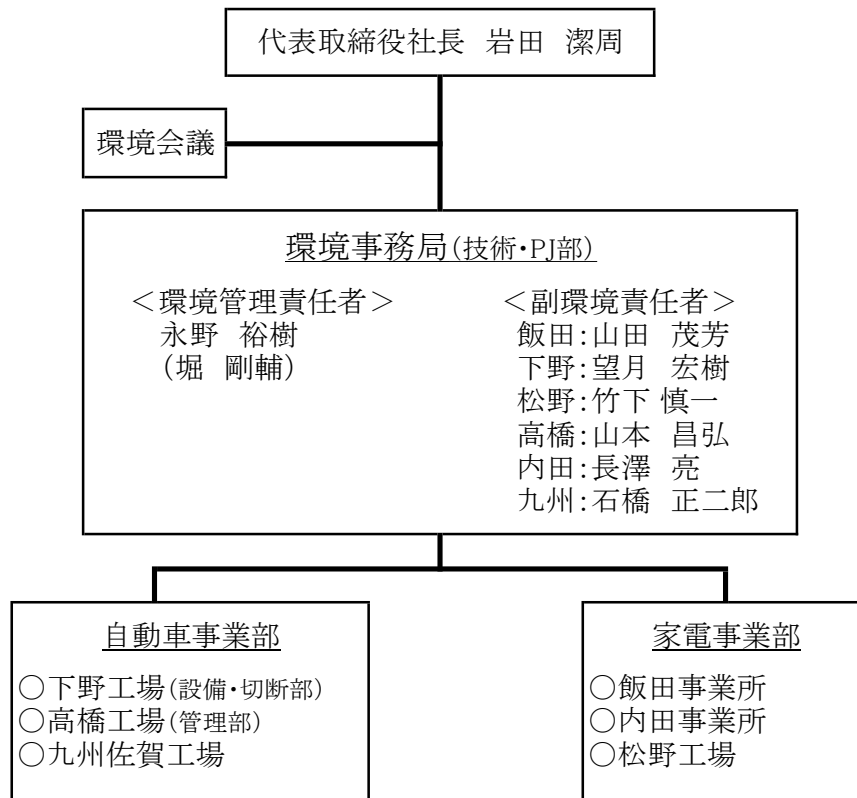
冷蔵庫用ランプソケット



エアコン用ハーネス

(3) 敷地概要





〔 役割分担 〕

①社長

- 環境経営システムの構築、及び全体の評価と見直し・指示
- 環境管理責任者、副環境管理責任者の任命
- 環境経営方針・環境経営目標の決定、及び見直し
- 環境経営計画の承認
- 環境経営システムの構築・運用・維持に必要な経営資源(人材・設備・資金等)の準備
- 緊急事態発生時の統括
- 実施体制の構築

②環境管理責任者

- 環境経営システムを確立し、実施・維持管理を継続的に運用
- 環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画の立案
- 環境経営計画の推進状況把握と社長への報告
- 環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況の把握と管理
- 環境経営システムに関する規定類の整備
- 運用管理、監視・測定、記録管理の統括
- 社長へ環境経営システム見直しに必要な情報を提供
- 年間の教育・訓練計画の作成
- 教育教材の調達

③工場長

- 緊急事態発生時の対応と報告
- 問題等発生した際に、是正及び予防措置の対応指導
- 環境経営計画の推進と必要とする資源の準備

④副環境管理責任者 兼 内部監査員(各工場から1名選任)

- 環境教育・訓練の実施と記録
- 環境経営目標、環境経営計画の立案
- 環境経営方針と環境経営計画に沿い、環境経営活動の啓蒙活動
- 運用管理、環境管理責任者へ環境に関する情報の提供
- 環境経営計画の推進状況把握と工場長への報告
- 内部監査の定期的な実施と結果の評価と是正の展開

⑤従業員

- 環境経営方針と環境経営計画に沿い、環境経営活動の実施

3. 環境経営目標とその実績 < 全社 >

【目標】2021年度の比率を基準とし

2022年度：-1%

2023年度：-2%

2024年度：-3% とする

【比率】排出量/売上にて算出

【達成率】目標値/実績値×100にて算出

【水道】生活用での使用の為、目標値は定めず前年度と当年度の比較のみとする

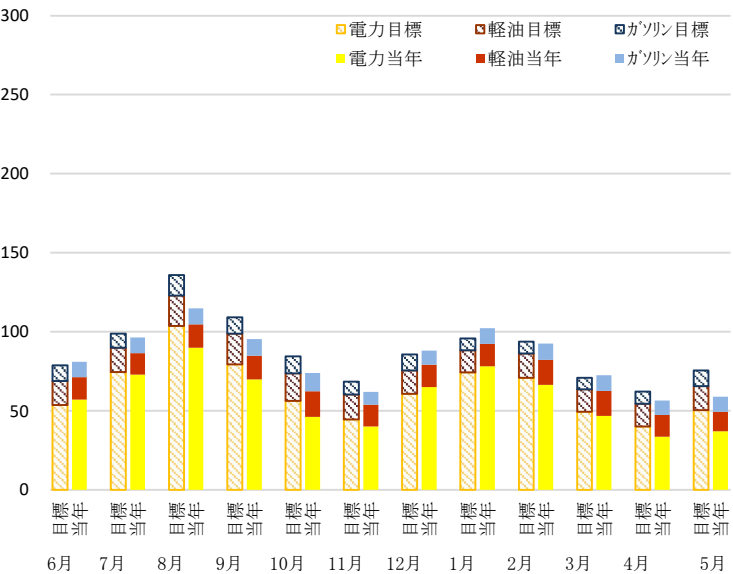
【CO2排出係数】①電力 0.461kg-CO2/kWh ②ガソリン 2.320kg-CO2/l ③軽油 2.580kg-CO2/l

①は「電気事業者排出係数-令和2年度実績-」より購入1社(ENEOS)の係数を選定②③は「算定省令第2条第3項、第4条第1項、別表第1」より選定

項目	単位	全社2022年度 月別実績(2022.05～2023.06)												目標:2021年度に対し、削減率1%	
		期間	第1期			第2期			第3期			第4期			累計
		月	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	
総CO2排出量 (電力+軽油+ガソリン)	kg-CO2 / 百万円	基準比率	79.6	99.7	137.2	110.2	85.1	69.1	86.4	96.7	94.6	71.6	62.8	76.1	-
		目標比率	78.8	98.7	135.8	109.1	84.3	68.4	85.5	95.7	93.7	70.9	62.2	75.4	-
		当年比率	81.0	96.3	114.8	95.3	73.8	61.9	87.9	102.2	92.5	72.4	56.4	58.8	-
	kg-CO2	当年	28,252	37,161	36,519	34,825	26,207	23,056	29,092	31,374	31,327	25,534	20,828	20,892	345,068
電力 CO2排出量	kg-CO2	当年	19,897	28,068	28,560	25,469	16,315	14,902	21,507	23,979	22,478	16,471	12,376	13,109	243,133
軽油 CO2排出量	kg-CO2	当年	4,915	5,232	4,743	5,522	5,773	5,106	4,686	4,316	5,341	5,539	5,042	4,391	60,605
ガソリン CO2排出量	kg-CO2	当年	3,441	3,860	3,216	3,834	4,119	3,048	2,899	3,079	3,509	3,523	3,410	3,391	41,330
事業系一般廃棄物 (焼却ごみ)	kg	当年	118	160	135	153	120	139	129	110	123	182	117	121	1,607
水使用量	m³	前年		335		289		266		290		300		267	1747
		当年		279		273		333		285		324		282	1776

[kg-CO2/百万円]

全社 目標・実績比較表



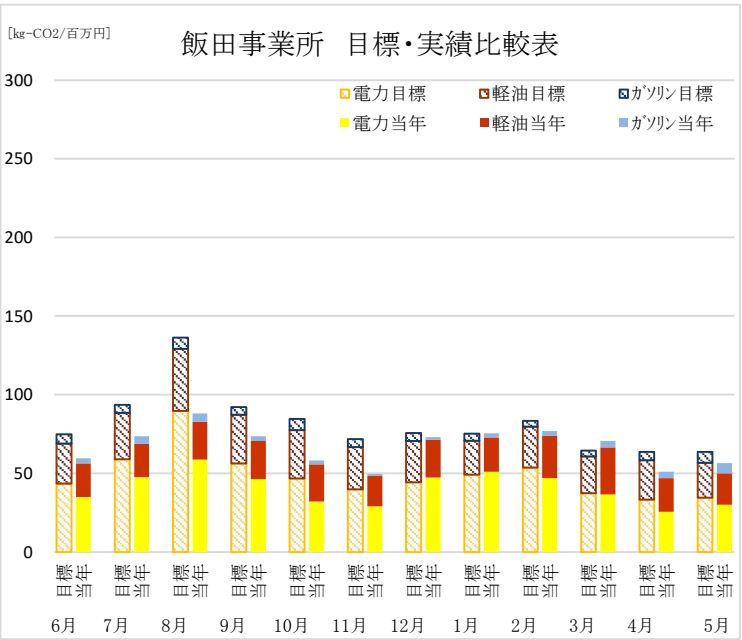
	目標達成率					結果 サイン	確認 サイン	評価 (課題、問題点)	是正措置及び予防措置
	電力	軽油	ガソリン	焼却	総CO2				
第1期	106%	117%	106%	135%	107%	達成	10/10 永野	全ての項目で目標達成 今年度より売上を反映した目標管理へと変更(これまでの目標達成率は売上に影響を受け易いモノだった)	今後は新目標にてPDCAを回す CO2削減活動の結果が反映され易い目標管理となったことで、士気向上へ繋がって欲しい
第2期	116%	117%	97%	143%	113%	達成	1/6 永野	9月下旬、台風により複数の工場が水没の被害を受けた 復旧や挽回生産に追われ、稼働時間が増加したが目標達成となった	まだ寒い日が続くため、デマンド監視装置のアラームが鳴った際は(業務に支障がない範囲で)各工場に対応していく
第3期	98%	101%	86%	128%	97%	未達成	4/4 永野	電力・ガソリン未達により総CO2未達 総CO2排出量は電力が大きな割合を占めている上、4月より値上げとなるため電力に対しアクションしていく	電力低減へのアクションとして 全工場にてエア漏れの点検を実施(第2期、高橋工場の活動の横展) 自家消費型の太陽光発電を検討中
第4期	119%	105%	87%	147%	111%	達成	7/13 永野	総CO2目標達成 ガソリン未達、各工場にて急発進・急ブレーキ・ムダなアイドリングをしないよう呼びかけ、小さな事を積み重ねていく	冷房使用の季節となる 各工場で不要な冷房(寒すぎる、人がいない場所で稼働等)の抑制、及びデマンド監視装置を活用し電力使用を抑える
年間	107%	109%	93%	142%	106%	達成	7/19 永野	総CO2目標達成 今年度より、売上(生産活動)を考慮した目標管理へと変更したことで、ただ数字を追うのではなく、現実を見た目標管理が1年を通してきた	省エネへの取り組みとして、太陽光発電の検討・エア漏れに対する活動を引き続き実施していく

3. 環境経営目標とその実績 <飯田事業所>

【目標】2021年度の比率を基準とし
2022年度：-1%
2023年度：-2%
2024年度：-3% とする

【比率】排出量/売上にて算出
【達成率】目標値/実績値×100にて算出
【水道】生活用での使用の為、目標値は定めず前年度と当年度の比較のみとする
【CO2排出係数】①電力 0.461kg-CO2/kWh ②ガソリン 2.320kg-CO2/l ③軽油 2.580kg-CO2/l
①は「電気事業者排出係数-令和2年度実績-」より購入1社(ENEOS)の係数を選定②③は「算定省令第2条第3項、第4条第1項、別表第1」より選定

項目	単位	飯田事業所 2022年度 月別実績(2022.05～2023.06) 目標:2021年度に対し、削減率1%												
		期間	第1期			第2期			第3期			第4期		
		月	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
総CO2排出量 (電力+軽油+ガソリン)	kg-CO2 / 百万円	基準比率	75.5	94.4	137.6	93.0	85.3	72.5	76.4	75.9	84.2	65.0	64.2	64.3
		目標比率	74.8	93.4	136.2	92.1	84.5	71.7	75.6	75.2	83.3	64.3	63.5	63.6
		当年比率	59.6	73.6	88.0	73.5	58.1	49.5	73.0	75.4	76.8	70.4	51.0	56.4
	kg-CO2	当年	6,749	8,213	7,602	7,581	5,977	5,259	6,558	6,853	6,666	5,591	5,078	5,355
電力 CO2排出量	kg-CO2	当年	3,957	5,304	5,078	4,775	3,300	3,074	4,249	4,628	4,077	2,902	2,540	2,840
軽油 CO2排出量	kg-CO2	当年	2,408	2,346	2,063	2,493	2,433	2,079	2,162	1,981	2,350	2,370	2,130	1,894
ガソリン CO2排出量	kg-CO2	当年	384	563	461	312	244	106	146	244	239	319	408	621
事業系一般廃棄物 (焼却ごみ)	kg	当年	34	31	33	48	44	30	34	20	28	34	29	28
水使用量	m ³	前年		58		47		48		49		52		46
		当年		55		50		62		56		55		57



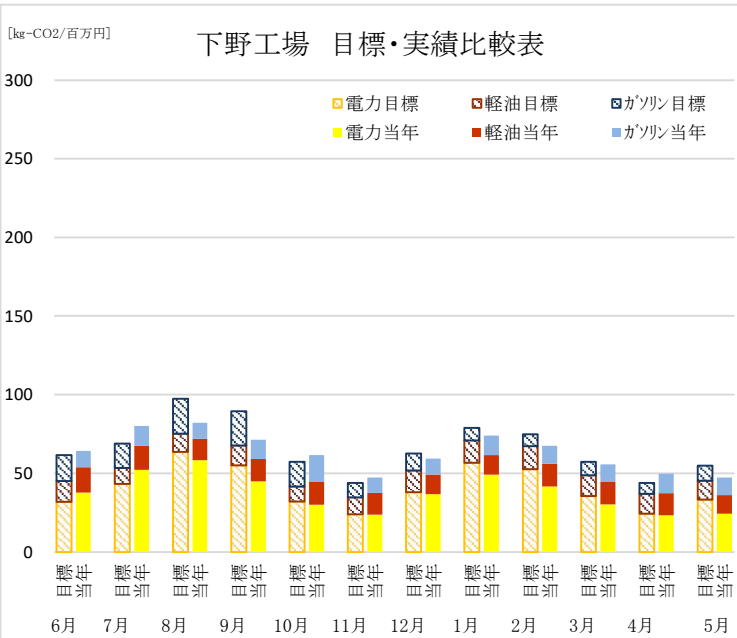
	目標達成率					結果	確認 サイン	評価 (課題、問題点)	是正措置及び予防措置
	電力	軽油	ガソリン	焼却	総CO2				
第1期	136%	142%	132%	195%	138%	達成	10/10 山田	すべての項目で目標達成 昨年よりも売上が増えているため達成となっている	ゴミの分別間違いがみられるため呼びかけを実施
第2期	133%	131%	266%	137%	137%	達成	1/24 山田	すべての項目で目標達成 昨年はコロナの影響により静電REF、RAC共ライン停止していたため	始業時間にデマンド装置の警告が出ている事があり、原因確認中 継続しゴミの分別を呼びかけ実施
第3期	101%	101%	188%	219%	104%	達成	4/25 山田	電力、軽油が達成率ぎりぎりだがすべての項目で目標達成 3月スポット溶接機部品庫から飯田へ移設、4月自動機増設予定あり	エアコンの設定温度を調節し デマンド装置にて目標電力を超えないよう対応 3月から生産減予定のため基本定時退社にて工場稼働時間を低減
第4期	114%	99%	107%	135%	108%	達成	7/24 山田	軽油以外で目標達成 3月から静電減産により工場稼働時間が減少	三菱Grは3月から基本定時退社 6月以降も同等で推移のため継続 自動車Grを部門間応援にて工場稼働時間を低減
年間	119%	116%	150%	169%	119%	達成	7/24 山田	全ての項目で目標達成 上期は好調だった静電が下期は減産となり工場稼働時間が減少	部門間応援による多能工化で 工場稼働時間が低減出来るよう指導 家電圏の閑散期に指導を実施

3. 環境経営目標とその実績 <下野工場>

【目標】2021年度の比率を基準とし
2022年度：-1%
2023年度：-2%
2024年度：-3% とする

【比率】排出量/売上にて算出
【達成率】目標値/実績値×100にて算出
【水道】生活用での使用の為、目標値は定めず前年度と当年度の比較のみとする
【CO2排出係数】①電力 0.461kg-CO2/kWh ②ガソリン 2.320kg-CO2/l ③軽油 2.580kg-CO2/l
①は「電気事業者排出係数-令和2年度実績-」より購入1社(ENEOS)の係数を選定②③は「算定省令第2条第3項、第4条第1項、別表第1」より選定

項目	単位	下野工場 2022年度 月別実績(2022.05~2023.06) 目標:2021年度に対し、削減率1%												
		期間	第1期			第2期			第3期			第4期		
		月	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
総CO2排出量 (電力+軽油+ガソリン)	kg-CO2 / 百万円	基準比率	62.1	69.7	98.4	90.3	57.9	44.3	63.1	79.7	75.6	57.9	44.3	55.3
		目標比率	61.5	69.0	97.4	89.4	57.3	43.9	62.5	78.9	74.9	57.4	43.8	54.8
		当年比率	64.2	80.1	82.2	71.3	61.6	47.2	59.4	74.0	67.4	55.6	49.8	47.2
	kg-CO2	当年	6,926	8,670	8,178	8,570	7,678	6,134	6,914	7,939	8,453	7,247	6,114	5,710
電力 CO2排出量	kg-CO2	当年	4,071	5,643	5,799	5,396	3,733	3,087	4,277	5,270	5,231	3,932	2,868	2,936
軽油 CO2排出量	kg-CO2	当年	1,728	1,664	1,366	1,709	1,810	1,780	1,453	1,326	1,793	1,858	1,715	1,427
ガソリン CO2排出量	kg-CO2	当年	1,127	1,364	1,012	1,465	2,135	1,266	1,184	1,343	1,428	1,457	1,532	1,347
事業系一般廃棄物 (焼却ごみ)	kg	当年	65	86	62	69	50	79	69	77	59	88	44	62
水使用量	m ³	前年		86		78		69		76		83		70
		当年		75		72		102		76		106		55



	目標達成率					結果	確認 サイン	評価 (課題、問題点)	是正措置及び予防措置
	電力	軽油	ガソリン	焼却	総CO2				
第1期	94%	78%	163%	108%	101%	達成	10/7 望月	総CO2は達成できたものの、電力と軽油が未達。台風15号により工場が水没。水害品輸送と臨時便によりトラックの使用頻度が急増し、軽油投入量が増えた。	台風15号による、水没製品の挽回に追われ、現場の復旧作業も出来ない状況、各工場・他部署の応援が必要です。まずは普通に戻す事です！
第2期	112%	78%	119%	131%	106%	達成	1/5 望月	残暑の残る中、水没による1Fエアコンが使用不可、日々挽回生産の追われ、汚水臭のする社内で我慢しながら、パートさん達に頑張って頂いた。	水没製品挽回生産と同時に、内示増。日々社内応援生産の継続。フォローしながら、残業・休出頻度を減らしたい。(3月ピーク有)
第3期	115%	109%	78%	122%	108%	達成	4/5 望月	ガソリン達成率に関しては、1月・2月の基準年値が低かったのも要因の一つだが、ハリアー終結に向けて臨時便対応が増えてしまった	無事ハリアーの転注を終え、一部の水没製品挽回とEP4の年計画生産。生産の安定、残業時間と臨時便の低減により、CO2排出量を減らします
第4期	120%	95%	72%	130%	102%	達成	7/6 望月	総CO2は達成できたものの、ガソリンと軽油が未達。自動車生産が回復を見せ、挽回生産に内職・外注共にピストン輸送にて対応していた。	増産対応に内職増員と外注への生産計画を見直し、ネック製品の生産を安定させ、臨時便・ピストン輸送を軽減させる。
年間	106%	89%	104%	121%	102%	達成	7/6 望月	9月の台風15号により、水没被害の大きなアクシデントがあったが、年間を通じて、総CO2が達成出来て良かった。	23年度も継続して達成できる様、資源使用量の削減や維持を、朝礼等で周知するように努めたい。

3. 環境経営目標とその実績 <高橋工場>

【目標】2021年度の比率を基準とし

2022年度：-1%

2023年度：-2%

2024年度：-3% とする

【比率】排出量/売上にて算出

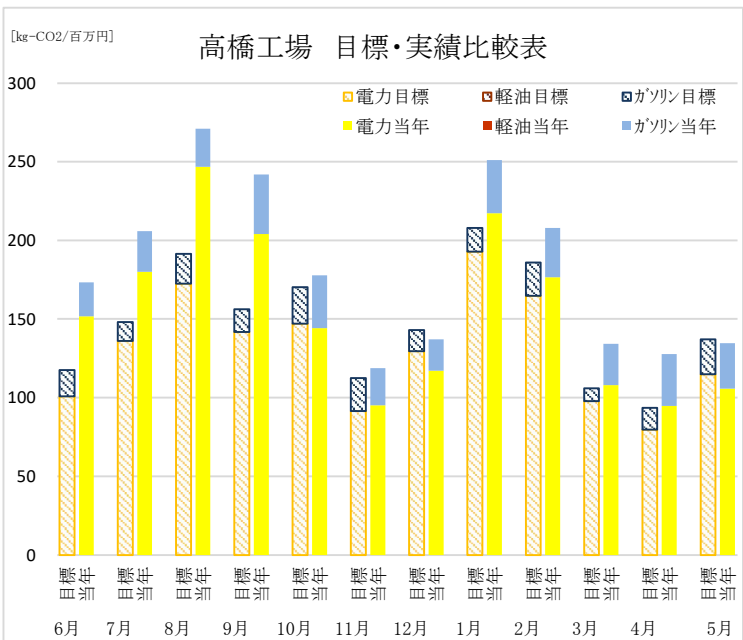
【達成率】目標値/実績値×100にて算出

【水道】生活用での使用の為、目標値は定めず前年度と当年度の比較のみとする

【CO2排出係数】①電力 0.461kg-CO2/kWh ②ガソリン 2.320kg-CO2/l ③軽油 2.580kg-CO2/l

①は「電気事業者排出係数-令和2年度実績-」より購入1社(ENEOS)の係数を選定②③は「算定省令第2条第3項、第4条第1項、別表第1」より選定

項 目	単位	高橋工場 2022年度 月別実績(2022.05～2023.06) 目標:2021年度に対し、削減率1%													累計
		期間	第1期			第2期			第3期			第4期			
		月	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	
総CO2排出量 (電力+軽油+ガソリン)	kg-CO2 / 百万円	基準比率	118.6	149.5	193.3	157.8	171.9	113.5	144.4	210.0	187.7	107.0	94.5	138.4	-
		目標比率	117.5	148.0	191.4	156.2	170.2	112.4	142.9	207.9	185.9	105.9	93.6	137.0	-
		当年比率	173.2	205.9	270.9	242.0	177.8	118.6	137.0	250.9	207.9	134.1	127.7	134.6	-
	kg-CO2	当年	3,222	4,497	5,419	5,269	3,478	2,774	3,708	3,883	3,471	2,876	2,506	2,394	43,498
電力 CO2排出量	kg-CO2	当年	2,822	3,930	4,935	4,444	2,819	2,226	3,171	3,363	2,947	2,315	1,857	1,879	36,706
軽油 CO2排出量	kg-CO2	当年	該当車両無し												-
ガソリン CO2排出量	kg-CO2	当年	400	568	485	825	659	548	537	521	525	561	649	516	6,792
事業系一般廃棄物 (焼却ごみ)	kg	当年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水使用量	m³	前年		68		57		57		60		57		52	351
		当年		48		44		51		49		54		50	296



	目標達成率					結果	確認 サイン	評価 (課題、問題点)	是正措置及び予防措置
	電力	軽油	ガソリン	焼却	総CO2				
第1期	71%	該当車両無し	66%	排出無し	70%	未達成	10/12 山本	電力、ガソリン、CO2排出量、すべてに目標未達成であるが前年度よりも工場稼働率が高かった為、未達成となった。(売上換算にてG02費用が含まれない為)	ガソリンの低減活動として内職便のルート見直しを9月度より実施。AMに東方面、PM西方面へのルート変更による走行距離の低減
第2期	86%		61%	排出無し	82%	未達成	1/24 山本	電力、ガソリン、CO2排出量、すべてに目標未達成であるが、台風被害対応による物流増や挽回生産、出荷増で工場稼働率が高かった為、未達成となった。	電力使用量対策として、工場内温度20℃の徹底、暖房の過度な設定を抑制していく 朝夕の気温が低い時間帯以外は出来るだけ使用しないよう展開
第3期	95%		58%	排出無し	90%	未達成	4/26 山本	電力、ガソリン、CO2排出量、目標未達成だが、電力は改善がみられてきている。ガソリン代については内職者増加による走行距離UPによって悪化となり未達成となった。	ガソリン代未達成対策として、内職便ルートの全体的な見直し検討中。曜日毎にルートを確認し、走行距離と手配件数の平均化を図っていくことでガソリン使用量を低減していく
第4期	95%		50%	排出無し	85%	未達成	7/3 望月	前回に引き続き、目標未達成だが電力は改善がみられてきている。ガソリン代については内職者増加による走行距離UPによって悪化となってしまった	内職者が増加していくことは避けられない為ガソリン量の低減は困難と考えられるがドライバーへは急発進、急加速、停止時のアイドリングストップを指導実施
年間	85%		57%	排出無し	80%	未達成	7/3 望月	ガソリン代については今後も課題として改善を検討する。空調については温度分布のバラツキが見られる。	空調機の移設、扇風機による冷風の攪拌、ブラインド取付による西日の遮断。

3. 環境経営目標とその実績 <松野工場>

【目標】2021年度の比率を基準とし

2022年度：-1%

2023年度：-2%

2024年度：-3% とする

【比率】排出量/売上にて算出

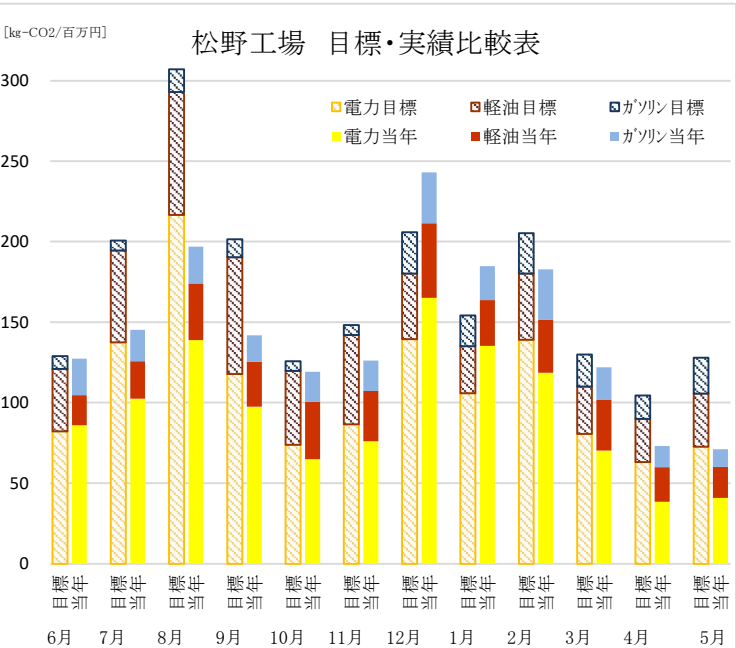
【達成率】目標値/実績値×100にて算出

【水道】生活用での使用の為、目標値は定めず前年度と当年度の比較のみとする

【CO2排出係数】①電力 0.461kg-CO2/kWh ②ガソリン 2.320kg-CO2/l ③軽油 2.580kg-CO2/l

①は「電気事業者排出係数-令和2年度実績-」より購入1社(ENEOS)の係数を選定②③は「算定省令第2条第3項、第4条第1項、別表第1」より選定

項 目	単位	松野工場 2022年度 月別実績(2022.05～2023.06) 目標:2021年度に対し、削減率1%													
		期間	第1期			第2期			第3期			第4期			累計
		月	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	
総CO2排出量 (電力+軽油+ガソリン)	kg-CO2 / 百万円	基準比率	130.2	202.8	310.0	203.5	127.1	149.6	207.9	155.8	207.2	131.2	105.5	129.2	-
		目標比率	128.9	200.7	306.9	201.4	125.8	148.1	205.8	154.2	205.1	129.9	104.5	127.9	-
		当年比率	127.4	145.2	197.0	141.8	119.2	126.2	243.1	184.7	182.8	121.9	73.0	71.0	-
	kg-CO2	当年	5,326	7,644	7,361	6,725	5,132	5,029	5,620	6,558	6,655	5,065	4,073	3,943	69,131
電力 CO2排出量	kg-CO2	当年	3,599	5,396	5,189	4,621	2,796	3,026	3,818	4,800	4,315	2,915	2,145	2,272	44,890
軽油 CO2排出量	kg-CO2	当年	778	1,222	1,313	1,319	1,531	1,247	1,071	1,009	1,197	1,312	1,197	1,070	14,265
ガソリン CO2排出量	kg-CO2	当年	949	1,026	859	785	805	757	732	748	1,143	838	732	601	9,975
事業系一般廃棄物 (焼却ごみ)	kg	当年	17	41	38	33	24	28	22	13	34	23	19	28	321
水使用量	m³	前年		66		60		51		61		58		59	355
		当年		53		55		62		59		58		69	356



	目標達成率					結果	確認 サイン	評価 (課題、問題点)	是正措置及び予防措置
	電力	軽油	ガソリン	焼却	総CO2				
第1期	133%	224%	43%	100%	136%	達成	10/7 鈴木	前年第一期との売上比較=約109% 8月の目標と実績の差が大きい。 (主たる要因は稼働日数の差) 配送ルート・電力消費が共に減少	今後、自動車圏と家電圏で連休の 設定日にズレが生じる際は、 空調稼働を工場全体ではなく 稼働部門のみに設定する。
第2期	117%	184%	43%	110%	123%	達成	1/23 竹下	内職便が増加している中でガソリン車 (バネット)を1台フル活用している為、目 標未達のまま。配送ルートは都度確認 し無駄がないようにしている。	バネットの内職便は1日3便ある。3便の うち、1便をトラックに変更しガソリン使用 量を減らしたい。 LED化を進めたい。
第3期	92%	103%	83%	84%	93%	未達成	4/24 竹下	退職者が増えているなか、工場全体で 負荷が高くなっており残業時間が増加 している。下野への直納便が多く、ガソ リン使用量が増加している。(一時的)	日々の残業時間を短縮できる仕組み を作る。(効率化) 第2期より継続してLED化を進めている。
第4期	145%	123%	129%	142%	136%	達成	7/24 竹下	前年度より売上増加 繁忙期のなかで残業が増加している が、不在や休憩時の消灯等、節電を周 知徹底してきた結果、目標達成するこ とができた。	閑散期に向けて各部署の人工調整と残 業時間の低減を実施することで無駄なエ ネルギー消費を無くす。 従業員へゴミ分別の再教育。
年間	117%	154%	74%	105%	118%	達成	7/24 竹下	年間通してガソリン使用量が未達。 外注先や得意先、他工場へ行く機会が 多かったことが要因と思われる。	会議等ではできればWEBで対応できるよ うにしたい。(品会、切断、環境はWEB) 無駄な移動を避ける。

3. 環境経営目標とその実績 <内田事業所>

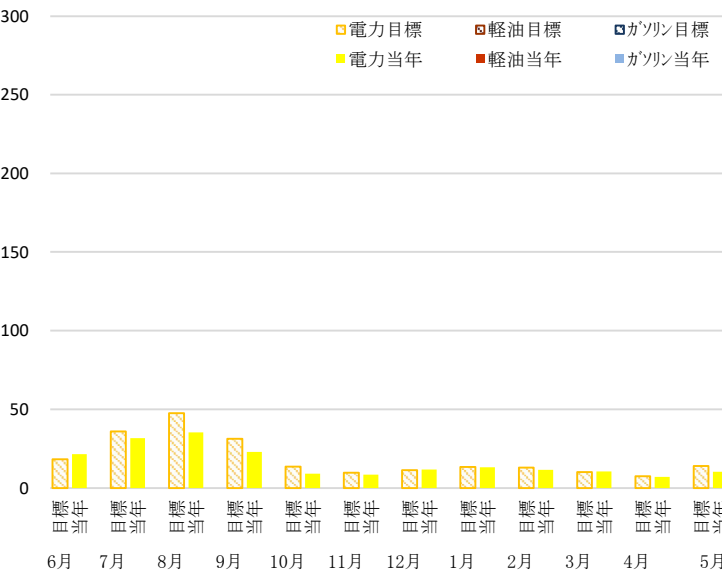
【目標】2021年度の比率を基準とし
2022年度：-1%
2023年度：-2%
2024年度：-3% とする

【比率】排出量/売上にて算出
【達成率】目標値/実績値×100にて算出
【水道】生活用での使用の為、目標値は定めず前年度と当年度の比較のみとする
【CO2排出係数】①電力 0.461kg-CO2/kWh ②ガソリン 2.320kg-CO2/l ③軽油 2.580kg-CO2/l
①は「電気事業者排出係数-令和2年度実績-」より購入1社(ENEOS)の係数を選定②③は「算定省令第2条第3項、第4条第1項、別表第1」より選定

項目	単位	内田事業所 2022年度 月別実績(2022.05～2023.06) 目標:2021年度に対し、削減率1%												
		期間	第1期			第2期			第3期			第4期		
		月	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
総CO2排出量 (電力+軽油+ガソリン)	kg-CO2 / 百万円	基準比率	18.4	36.2	48.0	31.6	13.8	9.8	11.5	13.5	13.1	10.1	7.5	14.0
		目標比率	18.2	35.8	47.5	31.3	13.6	9.7	11.4	13.4	12.9	10.0	7.5	13.8
		当年比率	21.4	31.5	35.3	22.9	9.1	8.5	11.6	13.2	11.4	10.4	7.0	10.2
	kg-CO2	当年	1,506	2,320	2,146	1,678	657	638	745	822	758	710	524	739
電力 CO2排出量	kg-CO2	当年	1,506	2,320	2,146	1,678	657	638	745	822	758	710	524	739
軽油 CO2排出量	kg-CO2	当年	該当車両無し											-
ガソリン CO2排出量	kg-CO2	当年												-
事業系一般廃棄物 (焼却ごみ)	kg	当年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水使用量	m ³	前年		21		16		14		14		15		15
		当年		15		17		18		14		16		17

[kg-CO2/百万円]

内田事業所 目標・実績比較表



	目標達成率					結果	確認 サイン	評価 (課題、問題点)	是正措置及び予防措置
	電力	軽油	ガソリン	焼却	総CO2				
第1期	115%	該当車両無し	排出無し		115%	達成	10/10 長澤	不必要な電灯の消灯、常時点灯箇所のLED化を進めた結果達成となった 6月のみエアコンの使用時期が前年より早かったため、未達成	蛍光灯のLED化を進めていく サーバ室のエアコン温度調整を行う
第2期	135%		排出無し		135%	達成	1/12 長澤	工場の稼働時間の減少、休憩時間の電灯の消灯を徹底、常時点灯箇所のLED化を進めた結果達成となった	1Fの蛍光灯のLED化は効果が薄い ため、チューブ切断の蛍光灯のLED化を進めていく
第3期	104%		排出無し		104%	達成	4/17 長澤	チューブ切断の稼働時間の減少が大きい、常時点灯箇所のLED化を行った結果達成となった	チューブ切断の蛍光灯のLED化を進めていく サーバ室のエアコンの使用時期のため、室温により使用時間を決めていく
第4期	113%		排出無し		113%	達成	7/17 長澤	常時点灯箇所のLED化、休憩時間の電灯の消灯を行った結果達成となった	サーバ室のエアコンの使用時間を外気温に合わせ都度変更していく
年間	113%		排出無し		113%	達成	7/17 長澤	不必要な電灯の消灯、常時点灯箇所のLED化、休憩時間の電灯の消灯を行った結果達成となった	今期の電力の低減活動を継続 サーバ室のエアコンを室温管理により効率的に使用できるようにする

3. 環境経営目標とその実績 <九州佐賀工場>

【目標】2021年度の比率を基準とし

2022年度：-1%

2023年度：-2%

2024年度：-3% とする

【比率】排出量/売上にて算出

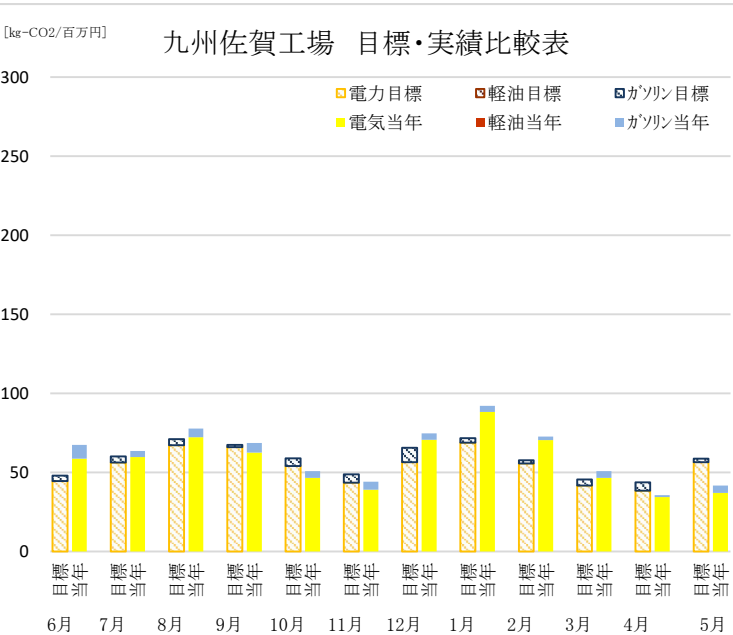
【達成率】目標値/実績値×100にて算出

【水道】生活用での使用の為、目標値は定めず前年度と当年度の比較のみとする

【CO2排出係数】①電力 0.461kg-CO2/kWh ②ガソリン 2.320kg-CO2/l ③軽油 2.580kg-CO2/l

①は「電気事業者排出係数-令和2年度実績-」より購入1社(ENEOS)の係数を選定②③は「算定省令第2条第3項、第4条第1項、別表第1」より選定

項 目	単位	九州佐賀工場2022年度 月別実績(2022.05～2023.06) 目標:2021年度に対し、削減率1%													
		期間	第1期			第2期			第3期			第4期			累計
		月	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	
総CO2排出量 (電力+軽油+ガソリン)	kg-CO2 / 百万円	基準比率	48.4	60.7	71.6	68.1	59.4	49.1	66.2	72.4	58.2	46.0	44.1	59.1	-
		目標比率	47.9	60.0	70.9	67.4	58.8	48.6	65.5	71.7	57.6	45.5	43.7	58.5	-
		当年比率	67.2	63.4	77.6	68.5	50.7	44.0	74.5	92.0	72.7	50.7	35.6	41.5	-
	kg-CO2	当年	4,523	5,816	5,813	5,002	3,286	3,222	5,547	5,319	5,324	4,044	2,534	2,750	53,180
電力 CO2排出量	kg-CO2	当年	3,942	5,476	5,414	4,555	3,010	2,851	5,247	5,096	5,150	3,697	2,444	2,444	49,324
軽油 CO2排出量	kg-CO2	当年	該当車両無し												-
ガソリン CO2排出量	kg-CO2	当年	581	340	400	447	276	371	300	223	174	348	90	306	3,856
事業系一般廃棄物 (焼却ごみ)	kg	当年	2	2	2	3	2	2	4	1	2	37	26	3	85
水使用量	m³	前年		36		31		27		30		35		25	184
		当年		33		35		38		31		35		34	206



	目標達成率					結果 確認 サイン	評価 (課題、問題点)	是正措置及び予防措置
	電力	軽油	ガソリン	焼却	総CO2			
第1期	88%	該当車両無し	63%	67%	86%	未達成 10/7 石橋	出荷増と人手不足によりパートの残業・休出が多く、稼働が上がった事が電力未達成の要因と思われる。	電力達成の為、不要な電気消灯・エアコンOFF推進 ガソリン達成の為、不要なアイドリング・急発進・急停止の呼びかけ
第2期	111%		74%	145%	107%	達成 1/10 石橋	ガソリンが目標未達成となった。 外注先の生産が逼迫し、調整や工程改善テコ入れを行う為、外注先へ出向く機会が多かった事が主原因だと思われる。	ガソリン達成の為に不要なアイドリング禁止、 急発進・急停止禁止の呼びかけを行い給油の際、時間に余裕がある場合は空気圧・オイルの点検を行う
第3期	79%		137%	46%	81%	未達成 4/7 石橋	出荷増と人手不足によりパートの残業・休出が多く、稼働が上がった事が電力未達成の要因	電力達成に向け、新棟2Fの電気は使用時以外は消灯を推進 4期期間内は基本的にエアコンOFFとする。
第4期	116%		111%	10%	116%	達成 7/7 石橋	焼却ゴミ目標未達。 3月・4月顧客指示でウェットティッシュ梱包を実施。全数返却されていたため、焼却ゴミの排出量が大幅増となった。	4月でウェットティッシュ梱包は終了したため、焼却ゴミの排出量は戻すが、 今後、顧客指示によって発生する返却ゴミは顧客にて処理する様、打診する。
年間	95%		90%	77%	95%	未達成 7/7 石橋	全項目目標未達。社会保険加入対象拡大の影響でパートが退社、慢性的な人手不足となり、昨年に比べ残業・休出増加した。	1期は空調がフル稼働になると思われるため、過度な温度設定を抑制する。 また冷気を外に逃がさない様、カーテンを有効活用する。

4. 主要な環境経営計画の内容

承認 2022.06.07	作成 2022.06.06
岩田	永野

※ ■は新規取組の活動

※ 計画 ■ 実行 ■

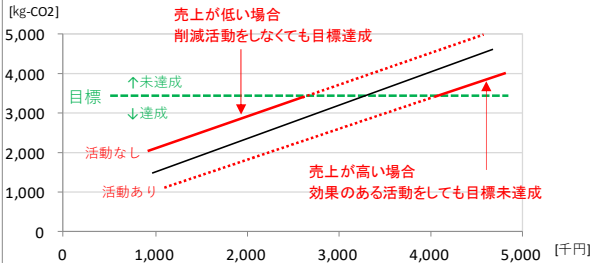
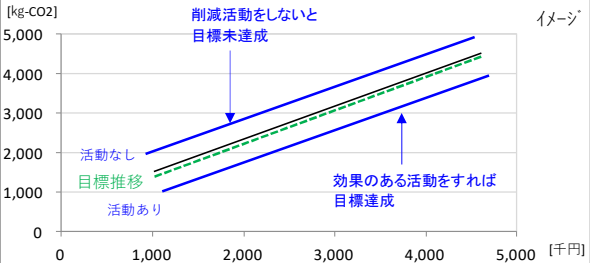
環境目標・環境経営計画の項目			具体的展開	推進責任者 推進担当者		2022年度 環境経営計画											
						6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
(1) 二酸化炭素排出量削減(kg-CO2) 電気使用量の削減																	
①	エアコンの適切な温度管理	掲示物/全体ミーティング等で呼びかけ	副環境責任者	計画 実績													
②	エアコンフィルター清掃	2週間に1回を目安	各工場設備担当者	計画 実績													
③	照明器具の間引き点灯徹底	巡回時等にチェック	副環境責任者	計画 実績													
④	休み時間消灯実施	昼・3時	副環境責任者	計画 実績													
⑤	休憩時コンプレッサー停止	昼	設備・切断部	計画 実績													
⑥	コンプレッサーのフィルター清掃	定期的な清掃実施	設備・切断部	計画 実績													
⑦	コンプレッサーの適切な圧力調整	定期的な確認	設備・切断部	計画 実績													
⑧	空調機器の買換検討	省エネタイプを優先に選定	社長・事務局 副環境責任者	計画 実績													
⑨	使用電力量の可視化	集計表の数値データをグラフ化	事務局	計画 実績													
⑩	二酸化炭素排出量の可視化	売上/人/面積等の数値データをグラフ化	事務局	計画 実績													
⑪	デマント監視装置のアラーム値見直し検討	必要であれば変更	事務局	計画 実績													
⑫	売上を反映したCO2排出量の目標管理	「環境経営目標とその実績」にて 目標設定・展開	事務局 副環境責任者	計画 実績													
(2) 二酸化炭素排出量削減(t) ガソリン・軽油投入量の削減																	
①	運行ルートの見直し	運行ルートの把握/見直し	工場管理者	計画 実績													
②	日常点検整備	点検表に基づき点検	全員	計画 実績													
③	エコドライブ意識付け	掲示物/全体ミーティング等で呼びかけ	副環境責任者	計画 実績													
④	ガソリン・軽油投入量の可視化	集計表の数値データをグラフ化	事務局	計画 実績													
⑤	二酸化炭素排出量の可視化	売上/人/面積等の数値データをグラフ化	事務局	計画 実績													
⑥	売上を反映したCO2排出量の目標管理	「環境経営目標とその実績」にて 目標設定・展開	事務局 副環境責任者	計画 実績													
(3) 廃棄物排出量削減 (kg)																	
①	裏紙の再利用徹底	掲示物/全体ミーティング等で呼びかけ	副環境責任者	計画 実績													
②	分別バトルによる指導	掲示物/全体ミーティング等で呼びかけ	副環境責任者	計画 実績													
③	個人ゴミの持ち帰り徹底	掲示物/全体ミーティング等で呼びかけ	事務局 副環境責任者	計画 実績													
④	廃棄物分別の徹底	分かり易い分別表示/見直し	事務局 副環境責任者	計画 実績													
⑤	産業廃棄物一覧表の配布	集計表の数値データをグラフ化	事務局	計画 実績													
(4) 水使用量の削減(m³)																	
①	節水の指導	掲示物/全体ミーティング等で呼びかけ	事務局 副環境責任者	計画 実績													
②	トイレの節水対策	消音器の設置	副環境責任者	計画 実績													
(5) 化学物質の適正量購入把握																	
①	適正購入量の把握	購入時に対応(現在、該当ナシ)		計画 実績													
(6) 環境に配慮した製品作り																	
①	環境負荷物質調査	負荷物質の調査	石塚S	計画 実績													
②	全員で環境を配慮	廃棄品の分別徹底	事務局 副環境責任者	計画 実績													
③	ECO検定	合格し体系的に環境を学ぶ	事務局 副環境責任者	計画 実績													
④	教育・訓練	環境会議等でテーマを選定し教育	事務局	計画 実績													
(7) SDGsへの取り組み																	
①	全員でSDGsへ取り組む	掲示物で情報発信 NPO法人への寄付	全員	計画 実績													
活動 コメント	6～8月	2022.09.07	SDGs活動の1歩目として全工場に掲示板を設置 工場で使用しているゴミ袋を、バイオマス25%使用の環境配慮型へ切り替え														
	9～11月	2022.12.05	SDGs活動の一環として、NPO法人への寄付活動を実施 今後も寄付を継続 9月末、台風により飯田事業所と下野工場が水没 大量の水害品が発生														
	12～2月	2023.03.08	水害品を有価物と廃棄物に分別し処理完了 今後、水害への備えを実施 各現場でエアコンの温度管理/デマント監視装置を活用し電力を抑制														
	3～5月	2023.06.09	下野工場、飯田事業所の浄化槽→下水道の切り替え工事が完了(法令遵守) 更なるCO2排出量の削減を目指し太陽光発電の検討開始														

5. 環境活動内容

作成日 2023年 6月 18日

(1) 二酸化炭素排出量削減

「環境経営目標とその実績」 売上を反映した目標管理へ変更

2021年度まで		2022年度から	
指標	kg-CO2	売上比率 (kg-CO2/売上)	
反映情報	CO2排出量のみ	CO2排出量、売上	
目標値	目標は一定 特徴 ・売上が低いと達成し易い ・売上が高いと達成し難い 	目標が変動 特徴 ・売上が低いと目標も下がる ・売上が高いと目標も上がる 	

(2) 廃棄物排出量削減

水害品を分別処理



【合計】 フロン56袋=約16t



【合計】 フロン38袋+加^{*}等31m³

(3)環境に配慮した製品作り

環境配慮型ゴミ袋へ切り替え



(4) 災害(水害)に対する防災・減災対策の推進

部材倉庫の最下段を荷置き禁止エリアとした



(5) SDGsへの活動(全社展開)

①揭示板設置



②寄付活動



6. 環境経営活動の取組結果の評価

比率:排出量/売上にて算出

達成率:目標比率/実績比率にて算出

作成日 2023年8月9日

評価:達成率100%以上⇒○、100%未満90%以上⇒△、90%未満⇒×

総CO2排出量の削減							評価(問題点)	
工場	総量(kg-CO2)		売上原単位評価				全社目標達成 工場別では高橋・九州が目標未達 今年度より、生産活動(売上)を反映させた目標管理へ変更 総CO2排出量の内訳は電力が7割を占めている	作成 永野 検印 岩田
	基準年	当年	目標比率	実績比率	達成率	評価		
飯田	81,330	77,482	79.47	66.51	119.5%	○		
下野	81,858	88,532	63.82	62.63	101.9%	○		
高橋	45,933	43,498	143.82	178.82	80.4%	×		
松野	63,436	69,131	159.99	135.53	118.0%	○		
内田	13,566	13,244	17.96	15.90	112.9%	○		
九州	47,775	53,180	57.98	61.29	94.6%	△	代表者コメント 集計のしくみに、高橋の売上一部が下野に計上されているため不利な状況となっている、売上の仕分けに対し適正化を進める	検印 岩田
全社	333,999	345,068	86.85	82.17	105.7%	○		

電力使用量の削減							評価(問題点)	
工場	総量(kg-CO2)		売上原単位評価				全社目標達成 工場別では高橋と九州が目標未達 高橋は出荷増や台風被害の挽回生産で工場稼働率が高くなり、達成率に影響 九州は人手不足を残業と休出でカバーし、工場稼働が増え未達となった	作成 永野 検印 岩田
	基準年	当年	目標比率	実績比率	達成率	評価		
飯田	48,686	46,725	47.57	40.11	118.6%	○		
下野	50,312	52,243	39.23	36.96	106.1%	○		
高橋	40,844	36,706	127.88	150.90	84.7%	×		
松野	40,653	44,890	102.53	88.01	116.5%	○		
内田	13,566	13,244	17.96	15.90	112.9%	○		
九州	44,469	49,324	53.97	56.85	94.9%	△	代表者コメント デマンドシステムは有効に活用できていると判断 今後は周囲への本システムの理解向上とアラーム発生後のアクションを具体化したい	検印 岩田
全社	238,530	243,133	62.02	57.89	107.1%	○		

軽油投入量の削減(kg-CO2)							評価(問題点)	
工場	総量(kg-CO2)		売上原単位評価				全社目標達成 九州は使用頻度の少なかった車両を削減し今年度より対象外 工場別では下野が目標未達 水害品輸送のため一時的にトラックの使用が増加したこと 特定の製品で臨時便対応が多く発生し未達となった	作成 永野 検印 岩田
	基準年	当年	目標比率	実績比率	達成率	評価		
飯田	27,305	26,710	26.68	22.93	116.4%	○		
下野	15,884	19,630	12.38	13.89	89.2%	×		
高橋	—	—	—	—	—	—		
松野	17,057	14,265	43.02	27.97	153.8%	○		
内田	—	—	—	—	—	—		
九州	—	—	—	—	—	—	代表者コメント 下野は水害復旧に対する消費の影響が高かった、水害対策の転換期、自ら守る体制を強化	検印 岩田
全社	60,348	60,605	15.69	14.43	108.7%	○		

ガソリン投入量の削減(kg-CO2)							評価(問題点)	
工場	総量(kg-CO2)		売上原単位評価				全社目標達成 工場別では高橋と松野が目標未達 高橋は水害による物流の増加の他、内職者の増加が影響 松野は内職便の増加に加え下野への直納便が多く、達成率が低下	作成 永野 検印 岩田
	基準年	当年	目標比率	実績比率	達成率	評価		
飯田	5,338	4,047	5.22	3.47	150.1%	○		
下野	15,661	16,659	12.21	11.78	103.6%	○		
高橋	5,089	6,792	15.93	27.92	57.1%	×		
松野	5,725	9,975	14.44	19.56	73.8%	×		
内田	—	—	—	—	—	—		
九州	3,306	3,856	4.01	4.44	90.3%	△	代表者コメント 内職運搬ルートの見直し頻度を高くする Webを活用し打合せ時の移動を低減する	検印 岩田
全社	35,121	41,330	9.13	9.84	92.8%	△		

焼却ゴミ排出量の削減(kg)							評価(問題点)	
工場	総量(kg)		売上原単位評価				全社目標達成 工場別では九州が未達成、顧客指示にて出荷箱にウェットティッシュを入れる特殊梱包が発生 ウェットティッシュは全て返却され焼却ゴミとして処理していたため、一時的に排出量が増加した	作成 永野 検印 岩田
	基準年	当年	目標比率	実績比率	達成率	評価		
飯田	584	393	0.57	0.34	169.1%	○		
下野	887	809	0.69	0.57	120.8%	○		
高橋	291	0	0.91	0.00	—	—		
松野	262	321	0.66	0.66	100.0%	○		
内田	0	0	0.00	0.00	—	—		
九州	62	85	0.07	0.10	76.7%	×	代表者コメント リデュース(ゴミを出さない)、リユース(ゴミにせずまた使う)、リサイクル(資源にして再利用)の3Rへの意識を向上させ社員のモチベーションを向上	検印 岩田
全社	2,085	1,607	0.54	0.38	141.7%	○		

評価(前年比100%未満⇒○、100%以上⇒×)

水道投入量の削減(m³)					評価(問題点)		作成
工場	総量評価				原単位評価にて前年より減少 使用用途は手洗い、トイレ等の生活用のみ 生産での使用無し		永野
全社	前年実績	当年実績	前年比	評価	是正処置及び予防処置		
	1,747	1,776	102%	×	節水呼びかけのポスターを掲示		検印
	売上原単位評価		前年比	評価	代表者コメント		岩田
		92%	○	「水は無限ではない貴重な資源」の理解を深めた上で節水に対する教育を実施する			

製品への配慮			作成
評価(問題点) ①環境負荷物質の調査	是正処置及び予防処置 ①都度実施 問題なく納期通り提出済み	代表者コメント ①廃棄ロスの低減	永野
			検印
化学物質の適正量把握			岩田
評価(問題点) ①現在該当なし	是正処置及び予防処置 ①必要となった場合は生産の動向に合わせて最低限の購入量に調整	代表者コメント ①関連する法令の把握と理解向上	

7. 次年度の取組み内容

次年度の環境経営活動内容を示す

作成日 2023年 6月 12日

(1) 二酸化炭素排出量削減 電気使用量の削減

- ① エアコン設定温度(夏28℃・冬18℃)
- ② エアコンフィルターの清掃
- ③ 扇風機適正配置
- ④ 休み時間消灯実施(昼・3時)
- ⑤ コンプレッサーフィルター清掃
- ⑥ 蛍光灯型LEDの導入
- ⑦ 省エネ機器への買換検討(空調機器、コンプレッサー 等)
- ⑧ 電力の消費量の可視化(グラフ化等)
- ⑨ CO2排出量の可視化
- ⑩ デマンド値見直し
- ⑪ 売上を反映したCO2排出量の目標管理
- ★ ⑫ エア漏れの点検・修復
- ★ ⑬ 太陽光発電の導入を検討

(2) 二酸化炭素排出量削減 軽油・ガソリン投入量の削減

- ① 集配ルートの見直し
- ② 臨時集配便の削減
- ③ 日常点検整備
- ④ 集配時のアイドリングストップ
- ⑤ 社用車の軽油・ガソリン投入量、燃費の可視化
- ⑥ CO2排出量の可視化(4項目の指標)
- ⑦ 売上を考慮したCO2排出量の目標管理

(3) 廃棄物排出量削減

- ① 裏紙の再利用徹底
- ② 分別パトロールによる個別指導
- ③ 個人ゴミの持ち帰り
- ④ 分別表示の見直し
- ⑤ ゴミが地球に与える悪影響を教育し、分別意識を高める
- ⑥ ゴミの分別に対し、的を絞った教育を実施し理解を深める

(4) 工場毎に特化した活動の展開、記録

- ① 各工場に特化した活動の継続

(5) 排水量削減(水道投入量の削減)

- ① 節水の呼びかけ

(6) 製品の環境配慮

- ① 環境負荷物質調査の対応
- ② 全社に向け状況の周知

(7) 環境に関する幅広い基本知識の習得

- ① 環境に関する幅広い知識を礎とし環境問題に積極的に取り組む”人づくり”

(8) SDGsへの取り組み

- ① 全工場で寄付活動の継続

(9) 災害に対する防災・減災対策の推進

- ★ ① 冠水危険エリアに置かれている部材・完成品・設備等のかさ上げ

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況

該当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありません。
関係機関からの指摘、利害関係からの訴訟も過去3年間ありません。

評価日：2023年5月31日

評価者：永野

区分	法令等の名称	該当する 条項等	遵守事項又は規制基準	備考	○：遵守 ×：非遵守 -：非該当					
					飯 田	下 野	松 野	高 橋	内 田	九 州
義務	○騒音規制法	第3条	地域の指定	高橋：第4種区域 他：第2種区域	○	○	○	○	○	○
		第5条	規制基準遵守義務		○	○	○	○	○	○
		第6条	特定施設設置届出		○	○	○	○	○	○
		第8条	特定施設の変更届		○	○	○	○	○	○
	静岡県生活環境保全条例	第52条	規制基準の遵守義務		○	○	○	○	○	—
		第53条	特定施設設置届出	空気圧縮機15kw 台 送風機7.5kw 台	○	○	○	○	○	—
	佐賀県環境の保全と創造に関する条例		第19条	騒音、振動又は悪臭に係る改善命令等	—	—	—	—	—	○
	○振動規制法	第3条	地域の指定	高橋：第2種区域 他：第1種区域	○	○	○	○	○	○
		第5条	規制基準遵守義務		○	○	○	○	○	○
		第6条	特定施設(施行令別表第1)の届出		○	○	○	○	○	○
		第8条	特定施設の変更届		○	○	○	○	○	○
	静岡県生活環境保全条例	第79条	規制基準の遵守義務		○	○	○	○	○	—
		第80条	特定施設設置届出	空気圧縮機15kw 2台	○	○	○	○	○	—
	佐賀県環境の保全と創造に関する条例		第19条	騒音、振動又は悪臭に係る改善命令等	—	—	—	—	—	○
	○浄化槽法	第5条	設置または変更時の届出	浄化槽	○	○	○	—	○	—
		第7条	水質検査	4回/年	○	○	○	—	○	—
		第8条	保守点検	同上	○	○	○	—	○	—
		第9条	清掃	1回/年	○	○	○	—	○	—
	○廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	第11条	定期検査	同上	○	○	○	—	○	—
		第2条	国民の責務	排出抑制・分別徹底・再生利用	○	○	○	○	○	○
		第3条	事業者の責務(適正処理・排出の抑制)	排出抑制・分別徹底・再生利用	○	○	○	○	○	○
		第5条	清潔の保持(土地・建物の清潔維持)	廃棄物置き場	○	○	○	○	○	○
		第6条2	一般廃棄物運搬及び処理委託業者	収集運搬及び処理業者に委託	○	○	○	○	○	○
		第12条2項	廃棄物の適正保管	保管基準遵守、保管場所表示	○	○	○	○	○	○
		第12条5項	産業廃棄物の委託処理	収集運搬、処分許可業者への委託	○	○	○	○	○	○
		第12条6項	運搬又は処分委託時の処置基準遵守	処理業者、処分業者との契約締結	○	○	○	○	○	○
		第12条7項	運搬又は処分の適正化確認	最終処分場現地確認	○	○	○	○	○	○
		第12条3第1項	マニフェスト交付		○	○	—	○	—	—
		第12条3第2項	マニフェスト保管	A票 5年間保管	○	○	—	○	—	—
		第12条3第6項	マニフェスト保管	B2、D、E票 5年間保管	○	○	—	○	—	—
		第12条3第7項	マニフェスト交付状況の知事報告	6月30日迄に提出	○	○	—	○	—	—
		第12条3第8項	マニフェスト写し送付の適切措置の実施	D、E票の期間内返却	○	○	—	○	—	—
	○ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法(PCB処理法)	第2条	事業者の責務(PCB廃棄物の適正処理)	飯田事業所：処置完了 高橋工場：現在展開中	○	—	—	○	—	—
		第8条	保管の届出		○	—	—	○	—	—
		第10条	期限内の処理		○	—	—	○	—	—
		第17条	譲渡し及び譲受けの制限		○	—	—	○	—	—
	○容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律(容器包装リサイクル法)		第4条	事業者及び消費者責務(分別排出・再商品化推進)	○	○	○	○	○	○
	○特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)		第6条	事業者及び消費者責務(特定家庭用機器の排出抑制及び廃棄時の収集運搬ルール遵守)	○	○	○	○	○	○
	○使用済自動車の再資源化等に関する法律(自動車リサイクル法)	第5条	自動車の所有者の責務	TV、冷蔵庫、エアコン 廃棄時のリサイクル費用支払い	○	○	○	○	○	○
		第8条	自動車の廃棄、使用済自動車の引渡義務		○	○	○	○	○	○
		第73条	使用済自動車の業者への引渡し	廃車時のリサイクル料金の支払い	○	○	○	○	○	○
	○資源の循環的利用等の推進 静岡県生活環境保全条例		第111条	事業者の責務：廃棄物発生の抑制、分別、再利用、再生利用	○	○	○	○	○	—
	佐賀県環境の保全と創造に関する条例		第90条	廃棄物の減量等に関する配慮	—	—	—	—	—	○
	○特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)	第4条	事業者の責務(化学物質管理指針に留意し使用)		—	—	—	—	—	—
		第5条	排出量把握・届出(質量1トン以上)	第1種指定物質年間量1トン以下の為、届出不要	—	—	—	—	—	—
	静岡県生活環境保全条例	第107条	排出の抑制に関する施策の推進		—	—	—	—	—	—
		第108条	指定化学物質の適正管理等		—	—	—	—	—	—
	佐賀県環境の保全と創造に関する条例		第39条	指定化学物質の適正管理	—	—	—	—	—	—
	○ELV規制			鉛、カドミウム、水銀、クロム非含有製品の納入	○	○	○	○	○	○
	○REACH規制			リーチ適合材料製品の納入	○	○	○	○	○	○
	○フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)	第16条	点検、修理、再充填履歴の記録・保存	パッケージエアコン	○	○	○	○	○	○
		第18条	管理者判断基準 点検の実施	簡易点検：1回/3ヶ月、定期点検：1回/3年	○	○	○	○	○	○
		第37条	再充填の適正化		○	○	○	○	○	○
		第39条	回収の義務		○	○	○	○	○	○
	○消防法	第9条4	少量危険物及び指定可燃物の貯蔵及び取扱い基準		—	—	—	—	—	—
		第13条	危険物取扱い作業時の保安監督		—	—	—	—	—	—
		第17条3	消防用設備点検・報告	消火器、自動火災報知機	○	○	○	○	○	○
		第18条	消防用設備の損壊禁止	0	○	○	○	○	○	○
		第21条	検定合格消防用設備の設置	消火器、自動火災報知機	○	○	○	○	○	○
		令第21条	自動火災報知機の設置	自動火災報知機	○	○	○	○	○	○
	○労働安全衛生法	第3条	事業者等の責務		○	○	○	○	○	○
		第20条	事業者の講ずべき措置等		○	○	○	○	○	○
		第65条	作業環境測定		○	○	○	○	○	○
	○労働安全衛生規則		第34条の2-8	危険物及び有害物に関する規制	○	○	○	○	○	○
	○自動車等の使用に伴う環境への不可の低減 静岡県生活環境保全条例	第147条	射出成形機、型打ち機等による危険の防止	安全データシート(SDS)の運用	○	○	○	○	○	○
		第103条	環境への負荷が少ない自動車の購入	全自動切断圧着機等	○	○	○	○	○	—
		第104条	自動車等の効率的な使用		○	○	○	○	○	—
		第105条	駐車時のエンジン停止		○	○	○	○	○	—
	佐賀県環境の保全と創造に関する条例		第86条	自動車等の効率的な使用等	—	—	—	—	—	○
責務・努力	○環境基本法		第8条	事業者の責務(ほい煙、汚水、廃棄物等の処理その他の公害防止、自然環境の保全に必要な処置を講ずる。製品の使用又は廃棄による環境への負荷の低減に努める)	○	○	○	○	○	○
	○地球温暖化対策の推進に関する法律		第5条	事業者の責務(温室効果ガス排出の抑制に努める)	○	○	○	○	○	○
	○循環型社会形成推進基本法		第11条	事業者の責務(廃棄物なごとの抑制)	○	○	○	○	○	○
	○資源の有効な利用の促進に関する法律(資源有効利用促進法)	第12条	国民の責務(循環型社会の形成促進と協力)	廃棄物の3R及び適正処理の推進	○	○	○	○	○	○
		第4条	事業者等の責務(再生資源及び再生部品を利用)	パソコン	○	○	○	○	○	○
	○国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)		第5条	事業者及び国民の責務(積極的な環境物品調達)	○	○	○	○	○	○

義務：守らなければならないこと 責務：義務の場合のように具体的な行為ではなく、抽象的・総合的な政策的行為

※法の最新情報 e-Gov <http://law.e-gov.go.jp/>
(e-Gov：総務省行政管理局運営の総合的行政情報ポータルサイト)

9. 代表者による全体の評価及び見直し・指示

(活動期間: 2022年 6月 ～ 2023年 5月)

1. 見直しおよび変更指示

作成日 2023年 8月 28日

項 目	変更要否	変 更 内 容
環境経営方針	否	変更無し
環境経営目標	要	売上を反映させた目標管理に変更 2021年度実績の-2%とする
環境経営計画	要	SDGsをより浸透させ、推進 災害(水害・火災・地震)に対する防災・減災対策を推進
環境経営システム	否	変更無し

2. 個別評価

項 目	評 価
環境への負荷の自己チェック	売上を反映した目標管理をスタートできたことは良い、しかし工場毎の売上集計の仕分け精度を向上させより正確性を向上させたい
環境への取組の自己チェック	事業活動に伴う環境負荷を把握し、大きな影響を与えている活動を特定し、今後実施していくべき具体的な取組を明らかにする
環境経営目標達成状況	全社目標は達成できたが「ガソリン投入量」への達成率が低い、車両情報の分析を行い課題を吸上げ改善
環境経営計画の達成状況	環境負荷低減に繋がる新技術等を積極的に掴みにいき、柔軟なる知性と行動が発揮できる組織を目指す
環境関連法規等の遵守状況	該当する環境法規について継続し遵守 関連する法令の把握と理解の向上が必要
教育・訓練の実施状況	地球環境を配慮した問題解決の意欲、態度、行動力を育て、知識の習得や理解にとどまらず、自ら行動できる人材を育む
外部とのコミュニケーションの状況	苦情や要望事項等はない SDGsをより浸透させ推進
内部監査の状況	内部監査としてのシステム監査の位置付けと期待される役割を探ってい き、必要に応じ監査項目の見直しを実施
緊急事態の対策と準備	災害(水害・火災・地震)に対する防災・減災対策を推進 ※2022年9月の台風にて大被害を受けた
規定類・手順書等の関連文書と関連記録の最新版管理	社内規格(中規-2202「文章管理規定」)に基づき維持・管理 できており良好

3. 抱負

資源を大切に使い、排出を抑え、環境保全に努める
持続可能な社会の実現に向けて自らの社会的責任を果たす
環境に配慮した製品やサービスを社会に提供することにより、社会の環境負荷低減に貢献する
環境に関する幅広い知識を礎とし環境に積極的に取り組む”人づくり”に取り組む

株式会社中静工業所
代表取締役社長 岩田 潔周